

編輯室の内外

裏日本の雪害頻々、氣の毒なことだと同情してゐたら、東京でも寒が明けてから雪害頻々だ。先づ二月五日に四寸二月二十二日に五寸積つた、降つてゐる間は美しい、がサテ東京では、雪の後が大變である。白燈々の一面は廳てオートミル状になり直に又クリーム狀に變る。そしてそれかいつまでも除かれぬ、美味しさうな形容を並べたが、實は甚だ難物で、泥濘車軸に達し、飛沫腰に至るとば大袈裟な言ひ分ではない。第二回目の降雪の後には丁度米國の觀光團が人力車百餘臺を連れて帝都見物をし、てゐるのを上野公園下で見た。リキシヤマンが及び腰で棍棒につかまり、路上のブールを爪先立て、歩いてゐる、車上の客人は歩く度にギクシャク搖れる。何う見ても良い圖ぢやない。帝國ホテルに旅裝を解いて

憧れの美はしの國を見物に出かけてイの一番に此のギクシャクをやられて第一印象は？蓋し言はぬがましか。

新聞で見れば東京市の除雪費豫算が合計二萬何千圓とか。雪が何寸以上積つたら集りなさいと言渡されてゐる所謂自由労働者が、二本足の高札を逆様にしたやうな物を

一人が柵を取りつゝ押し、他の二人が網曳きで、エツチラオツチラ路面を撫で、雪を搔くのである。行程遅々、大東京の道路網と對比しては、お話にならぬ通り口だ。霜

がれ時の自由労働者救濟には良い仕事だらう、が、寸秒も休む隙のない道路を、あんな仕事をさせて失業救濟で御座ると納まつてゐられちや、道路の方が納まらない。平常の道路掃除さへ手がまわらぬ所だ、まして雪搔きまでは……と言ふのなら今まで何をか言はんやである。駿馬後にあり駿馬跌かざらんやと言ふことがある。駿馬でさへ後れちやならぬと言ふ意氣組はある。昭和

の御代だ、もう少し何とか目鼻のついたことをやつて欲しい。或ひは同人の鞭の鳴らし方が手ぬるいのか。同人舉つて頑健、會務に一層の馬力をかけて居り近く一大計畫を樹て、諸君に見えんとして居る、刮目して待たれたい。

本 號 定 價 五 拾 錢
一 タ 年 分 金 六 圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路改良會

發行兼
編輯者

上 山 陸 造

東京市小石川區誠訪町五十六
印刷所 常磐印刷所

印刷者

堀江關武